

【注意！】8月のハダニ類多発

○：効果ある △：効果やや劣る ×：効果ない

薬剤名	倍率	基準	回数	IRAC コード	種類に対する効果		ステージに対する効果		
					赤ダニ	白ダニ	卵	幼若虫	成虫
ピラニカ水和剤	2000	21 日前	1 回	21	○	×	○	○	○
カネマイトフロアブル	1000	7 日前	1 回	20	○	○	○	○	○
マイトコーネフロアブル	1000	前日	1 回	20	○	○	△	○	○
オマイト水和剤	750	3 日前	1 回	12	○	○	○	○	○
コロマイト乳剤	<u>1000</u>	前日	1 回	6	○	○	○	○	○
コロマイト水和剤	<u>2000</u>	前日	1 回	6	○	○	○	○	○
ダニゲッターフロアブル	2000	前日	1 回	23	○	○	○	○	△
スターマイトフロアブル	2000	前日	1 回	25	○	○	○	○	○
ダニサラバフロアブル	1000	前日	2 回	25	○	○	○	○	○
ダニコングフロアブル	2000	前日	1 回	25	○	○	○	○	○
アカリタッチ乳剤	1000	前日	—		○	○	×	○	○

りんご 殺ダニ剤ローテーション 2019

- ➡ 7月下旬（7/20-25 頃）：ダニコングフロアブル（中期的抑制効果あり・残効 14 日程度）
- ➡ 8月上旬（8/5-10 頃）：コロマイト乳剤 1,000 倍（速効的・成虫に効果高い・残効短い）
- ➡ 8月下旬（8/20-25 頃）：オマイト水和剤 750 倍（成虫に効果あり・残効やや短い）
- ➡ 9月上旬（9/5-10 頃）：アカリタッチ乳剤 1,000 倍（成虫に効果あり・残効短い）

【注意事項】

- ① ダニサラバ・スターマイト・ダニコングは同一薬剤系統である。抵抗性回避のため、いずれかを年 1 回のみ使用とする。
- ② ダニゲッター・ダニサラバは成虫に対してやや遅効的效果を示す。
- ③ カネマイトとマイトコーネは同一薬剤系統である。抵抗性回避のため、いずれかを年 1 回のみ使用とする。
- ④ アカリタッチ乳剤は卵には効果がなく、また残効性が期待できないので、害虫の増殖や圃場からの飛び込みが活発な時には、5～10 日の間隔で連続 2 回散布や、他剤とのローテーション散布を行う。
- ⑤ 散布ムラはハダニ類の多発を招く。樹冠内部まで十分に薬液が到達するように不要な枝等は除去する。
- ⑥ 多発が予想される又は多発の場合は、登録の範囲内で散布量を増やし、散布間隔を短縮する。



1,000 倍



1,000 倍



2,000 倍